

果樹カメムシ類の越冬量調査

病害虫防除所では、モモ、ナシ等の果実を吸汁し、表面を凹ませたり変色させる等の被害を与えるカメムシ類の発生量を予察しています。今年は、12月に府内 28 箇所から落ち葉を採集して持ち帰り、カメムシ類の越冬量を調べました。

カメムシ類は春期に越冬場所の落ち葉を離れ、その後果樹園へ飛来して加害します。今回の調査結果は、果樹生産者の防除に役立てるため、5月下旬に発表する6月の病害虫発生予察情報に反映させる予定です。



上：落ち葉内のカメムシを調査

左：見つかったチャバネアオカメムシ